

お互いさまのまちづくり
アニュアルレポート
2025

年次事業報告書

豊橋市お互いさまのまちづくり協議会



お互いさまのまちづくりアニュアルレポート2025について

このレポートは、「第2期お互いさまのまちづくりアクションプラン～支え合い活動55団体創出に向けて～」に関し、お互いさまのまちづくり協議会を構成する関係団体等の令和7年度
の取組状況を整理し、その評価等を行ったものです。協議会で情報共有を行い、コレクティブ
インパクト（立場を超えて互いの強みを出し合うこと）実現のための基礎資料とするとともに、
関係団体等におけるアクションプランの理解促進のための資料とします。

I 支え合い活動の状況

1 今年度立ち上がった活動

令和7年度は新たに14箇所の支え合い活動が誕生した。

| No. | 名称 | 校区 | 場所 | 備考 |
|-----|-------------|-------|------------|--|
| 1 | オレンジカフェ岩屋 | 飯村 | 岩屋病院 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年4月設立 ・岩屋病院が中心となって設立 ・病院が開催するオレンジカフェ |
| 2 | フラクラブ | 下地 | 下地老人福祉センター | <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年4月設立 ・ほの国体操リーダーが中心となって設立 ・フラダンス、ほの国体操 |
| 3 | ティールームひつじ草 | 花田 | 元ニワトリ食堂 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年5月設立 ・地元有志が中心となって設立 ・ティータイム、おしゃべり、絵本の会 |
| 4 | えがおラボ | 吉田方 | 新栄町公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年5月設立 ・地元有志が中心となって設立 ・おしゃべり、体操、レクリエーション等 |
| 5 | にっこりサロンじいばあ | 旭 | あいトピア | <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年6月設立 ・地元の有志、民生委員が中心となって設立 ・おたのしみ中心に食事（流しそうめん他）やレクリエーション |
| 6 | さわらびカフェ | 牛川 | 旧はりはら | <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年9月設立 ・さわらび会が設立 ・地域の憩いの場として提供（利用料無料）誰でも参加可 |
| 7 | 八町ほっこり | 八町 | シャトーローズ | <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年9月設立 ・地元の有志が設立 ・おしゃべり、体操、手芸、ゲーム等を実施 |
| 8 | おしゃべりなかま | つつじが丘 | カサ・ブランカ | <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年10月設立 ・民生委員を中心とした有志が中心となって設立 ・おしゃべりを中心とした活動 |

| No. | 名称 | 校区 | 場所 | 備考 |
|-----|-------------|----|----------|--|
| 9 | オレンジカフェあざれあ | 下地 | DS あざれあ | <ul style="list-style-type: none"> 令和7年11月設立 あざれあスタッフが中心となって設立 体操、工作、おしゃべり、相談 |
| 10 | 男子厨房に入ろう会 | 新川 | 新川デイサービス | <ul style="list-style-type: none"> 令和7年11月設立 地元の有志が設立 参加者で献立、買い物、調理をして一緒に食事 |
| 11 | たのしみ会 | 前芝 | 日色野集会場 | <ul style="list-style-type: none"> 令和8年1月設立 地元有志が中心となって設立 集まっておしゃべりを楽しむ |
| 12 | ともす図書館 | 東田 | 東田の個人の住居 | <ul style="list-style-type: none"> 令和8年2月設立 地元有志が中心となって設立 私設図書館 |
| 13 | お気楽カフェ | 老津 | お気楽カフェ | <ul style="list-style-type: none"> 令和8年2月設立 地元有志が中心となって設立 喫茶を中心に健康講座を開催 |
| 14 | オレンジカフェきりん堂 | 新川 | きりん堂 | <ul style="list-style-type: none"> 令和8年3月設立 地元有志が中心となって設立 おしゃべり、多世代交流 |

2 校区別の活動箇所数（協議会把握分）

お互いさまのまちづくり協議会が把握しているまちの居場所活動、助け合い活動などの支え合い活動は150団体（箇所）である。

| 校区名 | 支え合い | | | 校区人口 (A) | 65歳以上 人口 (B) | 65歳以上 割合 (B/A) |
|-----|------|-----|------|-------------|--------------------|----------------------|
| | 活動合計 | 居場所 | 助け合い | | | |
| 岩田 | 8 | 7 | 1 | 15,301 | 4,120 | 26.9% |
| 豊 | 1 | 1 | 0 | 7,104 | 2,080 | 29.3% |
| 東田 | 8 | 8 | 0 | 8,335 | 2,534 | 30.4% |
| 八町 | 11 | 11 | 0 | 3,277 | 1,074 | 32.8% |
| 松葉 | 3 | 3 | 0 | 6,788 | 1,939 | 28.6% |
| 花田 | 6 | 6 | 0 | 6,988 | 2,003 | 28.7% |
| 松山 | 4 | 4 | 0 | 6,761 | 2,072 | 30.6% |
| 新川 | 11 | 10 | 1 | 5,248 | 1,696 | 32.3% |
| 羽根井 | 1 | 1 | 0 | 8,657 | 2,360 | 27.3% |
| 下地 | 5 | 5 | 0 | 6,185 | 1,636 | 26.5% |
| 大村 | 3 | 3 | 0 | 3,324 | 917 | 27.6% |
| 津田 | 3 | 3 | 0 | 3,691 | 1,020 | 27.6% |

| 校区名 | 支え合い | | | 校区人口 (A) | 65歳以上 人口 (B) | 65歳以上 割合 (B/A) |
|-------|------|-----|------|-------------|--------------------|----------------------|
| | 活動合計 | 居場所 | 助け合い | | | |
| 牟呂 | 3 | 3 | 0 | 13,656 | 3,064 | 22.4% |
| 汐田 | 2 | 2 | 0 | 8,375 | 1,625 | 19.4% |
| 吉田方 | 4 | 4 | 0 | 17,040 | 3,510 | 20.6% |
| 高師 | 2 | 2 | 0 | 12,847 | 3,480 | 27.1% |
| 幸 | 1 | 1 | 0 | 15,998 | 4,305 | 26.9% |
| 芦原 | 3 | 3 | 0 | 7,554 | 2,010 | 26.6% |
| 福岡 | 1 | 1 | 0 | 13,039 | 3,338 | 25.6% |
| 中野 | 1 | 1 | 0 | 7,898 | 2,030 | 25.7% |
| 磯辺 | 3 | 3 | 0 | 10,654 | 2,613 | 24.5% |
| 大崎 | 3 | 3 | 0 | 2,963 | 872 | 29.4% |
| 野依 | 1 | 1 | 0 | 6,164 | 1,522 | 24.7% |
| 植田 | 4 | 4 | 0 | 4,798 | 1,507 | 31.4% |
| 牛川 | 3 | 2 | 1 | 9,238 | 2,216 | 24.0% |
| 鷹丘 | 4 | 3 | 1 | 13,342 | 3,699 | 27.7% |
| 下条 | 1 | 1 | 0 | 1,359 | 501 | 36.9% |
| 多米 | 4 | 3 | 1 | 11,255 | 2,896 | 25.7% |
| 岩西 | 1 | 1 | 0 | 9,063 | 2,345 | 25.9% |
| 飯村 | 2 | 2 | 0 | 12,343 | 3,079 | 24.9% |
| つつじが丘 | 3 | 3 | 0 | 9,533 | 2,277 | 23.9% |
| 旭 | 6 | 6 | 0 | 3,617 | 1,210 | 33.5% |
| 栄 | 3 | 3 | 0 | 13,946 | 3,967 | 28.4% |
| 天伯 | 2 | 1 | 1 | 5,049 | 1,355 | 26.8% |
| 大清水 | 5 | 4 | 1 | 5,901 | 1,593 | 27.0% |
| 富士見 | 3 | 3 | 0 | 6,547 | 2,185 | 33.4% |
| 向山 | 5 | 5 | 0 | 6,758 | 2,181 | 32.3% |
| 前芝 | 7 | 7 | 0 | 3,972 | 1,029 | 25.9% |
| 西郷 | 0 | 0 | 0 | 2,012 | 779 | 38.7% |
| 玉川 | 1 | 1 | 0 | 4,990 | 1,631 | 32.7% |
| 嵩山 | 1 | 1 | 0 | 1,296 | 512 | 39.5% |
| 石巻 | 1 | 1 | 0 | 2,523 | 856 | 33.9% |
| 谷川 | 0 | 0 | 0 | 1,893 | 561 | 29.6% |
| 小沢 | 1 | 1 | 0 | 2,075 | 708 | 34.1% |
| 細谷 | 1 | 1 | 0 | 2,325 | 768 | 33.0% |

| 校区名 | 支え合い | | 校区人口 (A) | 65歳以上 人口 (B) | 65歳以上 割合 (B/A) | |
|-----|------|-----|-------------|--------------------|----------------------|-------|
| | 活動合計 | 居場所 | | | | 助け合い |
| 二川 | 3 | 3 | 0 | 7,837 | 2,363 | 30.2% |
| 二川南 | 0 | 0 | 0 | 9,532 | 2,288 | 24.0% |
| 豊南 | 0 | 0 | 0 | 2,189 | 713 | 32.6% |
| 高根 | 0 | 0 | 0 | 2,373 | 536 | 22.6% |
| 老津 | 0 | 0 | 0 | 3,307 | 1,120 | 33.9% |
| 杉山 | 1 | 1 | 0 | 3,878 | 937 | 24.2% |
| 賀茂 | 0 | 0 | 0 | 1,181 | 449 | 38.0% |
| 不明 | - | - | - | - | - | - |
| 計 | 150 | 143 | 7 | 361,979 | 98,081 | 27.1% |

※人口は令和8年4月1日現在

II アクションプラン取組状況

1 認知度向上プラン

(1) 「春の防災祭り」の開催（豊橋市自治連合会）

開催日・場所：令和7年6月1日 花田小学校

内容等：豊橋市消防団第7方面隊花田分団などが主体となり、地域の親子などを対象とした防災イベントを開催。地域内での防災における「自助」や「互助」の意識を醸成した。

(2) 老人クラブ連合会事業実施方針、重点目標への位置づけ（老人クラブ連合会）

内容等：令和7年度の重点目標に「支え合い活動の推進」を掲げ、昨年度に引き続き「お互いさまのまちづくり」について老人クラブ会員への周知を図った。

(3) SNS、広報紙、ホームページを活用した企画情報の発信（社会福祉協議会）

内容等：SNS（LINE）などを活用した企画情報の発信を行うことで、お互いさまのまちづくりにつながる情報をより広く周知した。

(4) 地区民児協単位での取り組み（民生委員児童委員協議会）

内容等：豊橋市内37地区の民児協が、それぞれの地区で支え合い活動や居場所づくり、認知症行方不明者捜索訓練等に、必要に応じて地域包括支援センターや自治会、老人クラブ等の他団体と連携しながら取り組んだ。

(5) 広域的地域ケア会議の開催

（中央、東部、南部地域包括支援センター・生活支援コーディネーター・市）

内容等：中央、東部、南部の3つの圏域ごとに、各包括支援センターが集まり、地域の課題を共有・検討する「広域的地域ケア会議」を開催した。会議において、圏域内の支え合い活動の状況を集約し、お互いさまのまちづくりの現状把握を行った。

(6) 特別講義の開催（生活支援コーディネーター・市）

開催日・場所：①令和7年6月10日 豊橋創造大学

②令和8年1月19日 豊橋市立看護専門学校

内容等：授業の一環として特別講義を開催した。支え合い活動者及び市職員が講師となり、「お互いさまのまちづくり」について、周知を図った。令和7年度は医療の専門知識を活かして地域で活躍する活動者を講師として招き、支え合い活動をより身近に感じてもらえる内容に見直した。



(7) 「とよはし健康マガジン」への掲載（9月号）（市）

内容等：豊橋市が発行する健康情報を掲載する電子マガジンに「お互いさまのまちづくりの推進」について掲載し、市内企業への周知を図った。

健康マガジンは
こちら→



(8) 行方不明者模擬訓練の実施（東部地域包括支援センター）

日 時：【岩西校区】令和7年8月30日 【つつじが丘校区】令和7年10月4日

参加者：【岩西校区】46名 【つつじが丘校区】21名

内容等：認知症の方への声掛けの仕方を学んだ後、実際に認知症役の方への声掛けを体験した。つつじが丘校区では小学生の参加もあったが、民生委員中心の参加。岩西校区では初めての開催で自治会役員（自治会長・民生委員・更生保護女性会・区長等）が主に参加。

(9) 行方不明者模擬訓練の実施（南部包括支援センター）

日 時：【磯辺校区】令和7年4月26日 【幸校区】令和7年11月22日

【大清水校区】令和7年11月28日 【富士見校区】令和7年12月14日

参加者：【磯辺校区】71名 【幸校区】87名

【大清水校区】54名 【富士見校区】40名

内容等：認知症の方への声かけの仕方を学んだ後、実際に認知症役の方への声かけを体験した。地域の多世代の参加があり、磯辺・富士見校区は今年度初めて実施した。

2 担い手創出プラン

(1) レクリエーションリーダー講座（社会福祉協議会）

開催日・場所：【前期】令和7年5月～、【後期】令和7年11月～（全6回）あいつピア

参加者：前後期合せて9人

内容等：高齢者を対象としたレクリエーション活動の理論と実技を学ぶ機会を設けた。

(2) 楽しくなかまづくり縁ジョイ講座（社会福祉協議会）

開催日・場所：令和7年11月～（全4回）あいつピア

参加者：11人

内容等：料理、レクリエーション、健康、フレイル予防、ボランティア事例紹介などを実施。

(3) 福祉レクリエーションボランティアセミナー（社会福祉協議会）

開催日・場所：令和7年2月～（全6回）あいつピア

参加者：5人

内容等：講義や実技でレクリエーションを学ぶセミナーを実施。

(4) 市内の公園等で一斉清掃ボランティア活動を実施（シルバー人材センター）

開催日・場所：令和7年10月3日、4日 豊橋公園他（市内10か所の公園等）

参加者：223名

内容等：市内52校区に設置している地域班を10のブロックに分けて、公園のごみ拾い。

会員同士の顔の見える関係づくりを通して人と人とのつながりの強化を図った。

(5) 各種生活支援事業の実施（シルバー人材センター）

内容等：企業を対象とした請負・派遣事業だけでなく、高齢者の生活支援、子育て世帯の生活支援、空家・空地管理及び介護予防・日常生活支援総合事業（地域型訪問サービス）といった地域の困りごとに密接する事業を引き続き実施した。

(6) 「東田校区認知症よりそいたい」の実施（中央地域包括支援センター）

開催日・場所：令和7年5月26日 東田小学校

内容等：東田小学校の5年生を対象に、認知症サポーター講座と声掛け訓練を実施。またその後地域ケア会議を行い、東田校区の認知症観について話し合った。

(7) 訪問看護事業所と連携した、居場所のきっかけづくり（東部地域包括支援センター）

開催日・場所：令和8年3月12日 平子公園

内容等：訪問看護事業所のリハビリ専門職を講師に迎え、平子公園にて転倒しにくい歩き方等の指導をもらった。参加者の殆どがオノ神住宅の住民であるため、今後オノ神住宅の集会場を活用し定例的に集まるようなきっかけづくりを行う予定。

(8) 生活・介護支援サポーター養成講座（南部地域包括支援センター・生活支援コーディネーター）
開催日・場所：令和7年9月26日～10月24日 アイプラザ豊橋など
内容等：彩幸地域包括支援センターが実施。圏域の包括が協力して回覧などによる広報活動を行った。最終日には南部圏域6包括との交流会を開催し、顔の見える関係づくりを図った。講座の一部では「支え合い活動を知る」と題して、生活支援コーディネーターが活動の実践例を紹介し、新たな担い手の育成に貢献した。

(9) まちの居場所づくり活動者交流会の開催（市・生活支援コーディネーター）

日時：令和7年8月4日 南部圏域まちの居場所づくり活動者交流会
令和7年8月29日 東部圏域まちの居場所づくり活動者交流会
令和7年9月10日 中央圏域まちの居場所づくり活動者交流会
令和7年10月30日 まちの居場所づくり活動者交流会（全体会）

内容等：活動者同士のつながりを育てるとともに、新たに活動を始めてみたい方を後押しすることで、担い手の創出を図った。全体会では、多くの活動者が関心を持つ「移動支援」に関する動画を放映し、住民主体による実践例を学んだ。



(10) 豊橋市お互いさまコーディネーター説明会の開催（市・生活支援コーディネーター）

開催日・場所：令和8年1月15日 豊橋市役所

参加者数：19人（個別説明含む）

内容等：「お互いさまのまちづくり」の推進役である豊橋市お互いさまコーディネーター（第1層生活支援コーディネーター）の住民向け説明会及び先輩コーディネーターとの座談会を開催し、新たな担い手の確保を図った。

(11) シニア向けスマホ教室の開催（市・自治会）

開催日・場所：令和7年7月23日～8月20日（全7回）市内各所

参加者数：高齢者 57人、学生 48人（延べ人数）

内容等：学生ボランティアを講師とするシニア向けスマホ教室を、開催を希望した自治会と協力して市内各所の公民館等で開催し、世代間交流を推進するとともに、学生が地域活動に興味をもつきっかけづくりに取り組んだ。

(12) スキル向上及び知識習得のための会議・研修への参加(市・生活支援コーディネーター)

| 会議・研修名 | 会議・研修開催日 |
|-------------------------------|------------|
| 愛知県生活支援コーディネーターフォローアップ研修(基礎編) | 令和7年 7月15日 |
| 愛知県生活支援コーディネーターフォローアップ研修(実践編) | 令和7年10月28日 |
| 東三河生活支援コーディネーター連絡会 | 令和8年 1月29日 |

3 活動応援プラン

(1) ボランティア活動保険（社会福祉協議会）

内容等：ボランティア活動中の万一の事故に備える「ボランティア活動保険」を引き続き実施し、周知を図った。

(2) サロン活動への支援（老人クラブ連合会）

補助団体数：25団体

内容等：サロン活動を普及拡大するため、老人クラブ連合会としてサロン活動をする老人クラブに対して助成金を交付した。

(3) 生活支援コーディネーター連絡会（生活支援コーディネーター・市）

開催日：毎月第3木曜日 年12回開催

場 所：豊橋市役所

内容等：支え合い活動者交流会の企画や支え合い活動の周知・立ち上げ応援等の活動方針を協議することなどを目的として開催した。

(4) 小地域ケア会議への出席（市・生活支援コーディネーター）

内容等：小地域単位（中学校区より小さい範囲）で高齢者などが抱える課題の解決に向けた検討を行う「小地域ケア会議」へ出席し、支え合い活動団体の立ち上げや活動継続・活性化への助言等を行った。

(5) お互いさまのまちづくりネットワークの運営（市）

内容等：市内の支え合い活動団体の状況を把握するとともに、団体相互のネットワーク化やお互いさまのまちづくり協議会との連携体制を構築するため、登録制度を運営した。令和7年度は8団体増加し、合計で80団体の登録となった。登録団体に対して情報提供や各種制度による支援を実施し、活動を応援した。

(6) 支え合い活動参加者保険（市）

内容等：活動中の参加者の事故を補償する「支え合い活動参加者保険」を引き続き実施し、各団体が支え合い活動をしやすい環境を整備した。

(7) 支え合い活動団体支援補助金（市）

補助団体数：53団体

内容等：お互いさまのまちづくりネットワーク加入団体に対し、活動に係る費用に対して上限1万円まで補助する「支え合い活動団体支援補助金」を交付し、活発な活動を後押しした。

(8) 地域包括支援センターによる立ち上げ支援

| 地域包括支援センター | 内容 |
|-----------------|---|
| 東部 | ・「おしゃべりなかま」の立ち上げに向けた集まりに参加、出前講座を実施 |
| 中央 | ・「ともす図書館」の立ち上げに向けた集まりに参加 |
| コープ 豊橋中央 | ・「男子厨房に入ろう会」の立ち上げに向けた集まりに参加、広報活動の協力を実施 |
| アースサポート 豊橋駅西 | ・「楽しい会」の立ち上げに向けた集まりに参加 ・「ティールームひつじ草」の立ち上げに向けた集まりに参加 ・「アクティブライフ花田」の立ち上げに向けた集まりに参加、広報活動の協力を実施 ※令和8年5月設立予定 |
| ベルビュー ハイツ | ・「えがおラボ」の立ち上げに向けた集まりに参加、打ち合わせを実施 |
| 喜寿苑 | ・「楽しみ会」の立ち上げに向けた打ち合わせ、広報活動の協力を実施 ・「オレンジカフェあざれあ」の立ち上げに向けた打ち合わせ、広報活動の協力を実施 |
| 福祉村 | ・「ペチャクチャ茶会」の立ち上げにむけた状況を聴取で確認 |
| 彩幸 | ・「高根居場所（仮）」の立ち上げに向けた打ち合わせを実施 |

(9) 地域包括支援センターによる活動安定化支援

【東部圏域】

| 地域包括支援センター | 内容 |
|------------|--|
| 東部 | ・「きてみてひろば つつじ」の集まりに年4回参加、年1回出前講座を実施、年1回ポピュレーションアプローチを実施 ・「なんじゃもんじゃ」の集まりに年4回参加、年2回出前講座を実施 ・「森の家 シルバーの会」の集まりに年4回参加 ・「オレンジカフェ岩屋」の活動状況を不定期聴取で確認 |
| さわらび | ・「金田住宅ふれあいサロン」の集まりに月1回参加 ・「嵩山ふれあいサロン」の集まりに月1回参加 ・「西郷健やかサポート」の集まりに年8回参加、年1回学生の実習として参加とインタビュー ・「洗心会」の集まりに年3回参加 ・「下条を考える会」において年1回出前講座を実施、年1回地域リハビリテーション活動支援事業を活用した出前講座を実施 |
| 赤岩荘 | ・「みんなの広場」の集まりに月1回参加 ・「多米西町サロン（仮称）」の集まりに月1回参加 ・「東町サロン」において年1～2回出前講座を実施 |

| | |
|--------------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・「笑ら輪まい会」の活動状況を年1～2回聴取で確認 ・「おせっ会」の活動状況を年1回聴取で確認 ・「おしゃべり会」の活動状況を年1回聴取で確認 ・「鷹丘料理教室ウェルカム」において月1回打ち合わせを実施、集まりに年1回参加、年1回出前講座を実施 ・「小鷹野クラブ（富田先生の体操教室）」の活動状況を年1回聴取で確認 |
| <p>コープ 豊橋北</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「のん・ほい」の集まりに月1回参加 ・「コミュニティカフェプチ」において不定期で出前講座を実施 ・「ふたばサロン」において不定期で出前講座を実施 ・「上を向いて歩こう・みんなで歌おう」の活動状況を不定期聴取で確認 ・「中岩田絵手紙サークル」の活動状況を不定期聴取で確認 ・「中岩田げんき会」において不定期で出前講座を実施 ・「オレンジカフェ 白珠」の活動状況を不定期聴取で確認 ・「おしゃべりカフェえんがわ」の活動状況を不定期聴取で確認 ・「なかいわたストレッチ会リフレッシュクラブ」の活動状況を不定期聴取で確認 ・「二十四会」の集まりに3～4か月に1回参加 ・「ハッピークラブ」の集まりに3～4か月に1回参加 ・「豊岡チーム」の集まりに3～4か月に1回参加 ・「若～い会」の集まりに3～4か月に1回参加 ・「レインボー」の集まりに3～4か月に1回参加 ・「岩田ストレッチ会」の集まりに3～4か月に1回参加 ・「支え愛カフェオレンジ プラチナC」の集まりに6か月に1回参加 ・「ひまわり」の集まりに3～4か月に1回参加 ・「若竹会」の集まりに3～4か月に1回参加 ・「岩田体操教室」の集まりに3～4か月に1回参加 ・「ふらっとサロン」の集まりに不定期参加 ・「ゆたか鍛エール」の集まりに3～4か月に1回参加 |
| <p>尽誠苑</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「大脇おたのしみ会」の活動状況を年1回聴取で確認 ・「二川茶屋」の活動状況を年1回聴取で確認 ・「こども食堂 smile2」の活動状況を年1回聴取で確認 |

【中央圏域】

| 地域包括支援センター | 内容 |
|-----------------|--|
| 中央 | <ul style="list-style-type: none"> ・「池見町ふれあいくらぶ」において3か月に1回出前講座を実施 ・「にっこりサロンじいばあ」において半年に1回出前講座を実施 ・「まりさんちに寄ってかまいかい」の集まりに数か月参加 ・「ほほえみ会」において数か月出前講座を実施 ・「いきいき教室」の集まりに1年に1回参加 ・「AKB10」において3か月に1回出前講座を実施 ・「みずほ会」の集まりに1年に1回参加 ・「かたつむりの会」の集まりに1年に1回参加 ・「らく楽クラブ」の集まりに数か月参加 ・「青空ひろば」の集まりに半年に1回参加 ・「ともす図書館」の集まりに年1回参加 ・「東田元気かい！」の集まりに数か月参加 ・「らくらく体操」において数か月出前講座を実施 |
| コープ 豊橋中央 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ぬくもりの会」の活動状況を年2回会合へ参加し確認 ・「万年青年(おもと)」において年1～2回ポピュレーションアプローチを実施 ・「やまぐちさんちのハピネス食堂」の活動状況を不定期聴取で確認 ・「東町わ会」において年1～2回出前講座を実施 ・「わかば会」において年1～2回ポピュレーションアプローチを実施 ・「Oh!池」において年1～2回ポピュレーションアプローチを実施 ・「ふれあいサロン吉田」において年1～2回ポピュレーションアプローチを実施 ・「ちくちくハンドの会」の活動状況を不定期聴取で確認 ・「えんがわ」において不定期で打ち合わせを実施 ・「笑和の会」において年1～2回ポピュレーションアプローチを実施 ・「モルックくつろぎ場 きりんのむれ」の活動状況を不定期聴取で確認 ・「ふれあい食堂きりん堂」の活動状況を不定期聴取で確認 ・「オレンジカフェ 大河」の集まりに月1回参加 ・「カリオン広場」において年1～2回ポピュレーションアプローチを実施 ・「花園広場」においてスローエアロビを実施 ・「しゃべらまい会」において年1～2回ポピュレーションアプローチを実施 ・「若竹会」において年1～2回出前講座を実施 ・「まちなか運動・ストレッチ会」の集まりに年1～2回参加 |
| アースサポート 豊橋駅西 | <ul style="list-style-type: none"> ・「いーばしょサロン花田」の活動状況を不定期、必要時聴取で確認 ・「若ガエル」の集まりに月1回参加 |

| 地域包括支援センター | 内容 |
|--------------|---|
| ベルビュー ハイツ | <ul style="list-style-type: none"> ・「おしゃべりクラブ」において不定期出前講座を実施、集まりに不定期参加 ・「吉川男女の会」において年2回出前講座を実施 ・「とまり木カフェ」の集まりに月1回参加 ・「えがおラボ」において月1回打ち合わせを実施、集まりに月1回参加 |
| 真寿苑 | <ul style="list-style-type: none"> ・「ぬくといカフェ牟呂」の集まりに月1回参加、年5～6回出前講座を実施、月1回チラシ回覧配布 ・「みんなの実家」の活動状況を不定期聴取で確認 ・「オアシスえがお」の活動状況を不定期聴取で確認 ・「オレンジクラブ」の集まりに年2回参加 ・「あんずカフェ」の集まりに2～3か月に1回参加、年2～3回出前講座を実施 ・「かかしの会」の集まりに3～4か月に1回参加 ・「さくら会」の活動状況を不定期聴取で確認 ・「PPK」の活動状況を不定期聴取で確認 ・「プラスの会」の集まりに2～3か月に1回参加 ・「キラキラ青竹」の集まりに2～3か月に1回参加 ・「ありのみ会」の集まりに2～3か月に1回参加、年2回地域リハビリテーション活動支援事業を活用した出前講座を実施 ・「スペリアいきいきサロン」の集まりに年1回参加、年1回地域リハビリテーション活動支援事業を活用した出前講座を実施 ・「汐田体操クラブ」の集まりに1～2か月に1回参加、1回出前講座を実施、年3～4回打ち合わせを実施 ・「はまぐりの会」の集まりに2～3か月に1回参加、年2回ポピュレーションアプローチを実施 |

| 地域包括支援センター | 内容 |
|------------|---|
| ふくろう | <ul style="list-style-type: none"> ・「八町ほっこり」の集まりに月1回参加、不定期で出前講座を実施 ・「転倒予防教室」の集まりに年3回参加 ・「茶の花会」の活動状況を不定期聴取で確認 ・「笑福クラブ」の集まりに年3回参加、不定期で出前講座を実施、不定期で地域リハビリテーション活動支援事業を活用した出前講座を実施 ・「あすなろ」の集まりに年3回参加、不定期で出前講座を実施、不定期でポピュレーションアプローチを実施 ・「かがやき」の集まりに年3回参加、不定期で出前講座を実施、不定期で地域リハビリテーション活動支援事業を活用した出前講座を実施 ・「カネモハッピー会」の活動状況を年3回聴取で確認 ・「笑寿会」の集まりに年3回参加、不定期で出前講座を実施、不定期で地域リハビリテーション活動支援事業を活用した出前講座を実施 ・「てんとうむし」の集まりに年3回参加、不定期で出前講座を実施、不定期でポピュレーションアプローチを実施 ・「出張!ふくろう教室」において不定期で出前講座を実施 ・「カリオン広場」の活動状況を不定期聴取で確認 |
| 喜寿苑 | <ul style="list-style-type: none"> ・「下地元気クラブ」において月1回出前講座を実施 ・「ちぎりえクラブ」において月1回打ち合わせを実施 ・「ぬりえクラブ」において月1回打ち合わせを実施 ・「にこにこクラブ」において月1回打ち合わせを実施 ・「おせっ会」の集まりに月1回参加 ・「レインボークラブ」の集まりに3か月に1回参加 ・「おしゃべり会」において月1回出前講座を実施 ・「すずや」の集まりに週1回参加 ・「スマホ教室」の集まりに月1回参加 ・「ぬくといカフェ前芝」の集まりに月1回参加 |

【南部圏域】

| 地域包括支援センター | 内容 |
|------------|--|
| 南部 | <ul style="list-style-type: none"> ・「大清水ささえあいの会」において年1回出前講座を実施、年1回大清水ささえあいの会役員会議へ参加 ・「大清水元気サロン」において年4回出前講座を実施、集まりに年1回参加 ・「彩幸クラブ」において年3回出前講座を実施、集まりに年1回参加 ・「ほのぼのサロン」において年3回出前講座を実施 ・「しあわせクラブ」において年1回出前講座を実施、年2回ポピュレーションアプローチを実施、年2回外部講師による出前講座 ・「森の葉」の集まりに不定期参加、不定期介護予防大会 ・「木曜会」において年1回出前講座を実施 ・「ひらめき会」において年1回出前講座を実施 ・「ちいきカフェたけのこ」の集まりに年1回参加、年1回出前講座を実施 |
| 弥生王寿園 | <ul style="list-style-type: none"> ・「小松町みんなの居場所」の活動状況を年1回聴取で確認 ・「ひなたぼっこ」の活動状況を年1回聴取で確認 ・「本郷おたがいさまの会」の活動状況を年1回聴取で確認 |
| 福祉村 | <ul style="list-style-type: none"> ・「さくらの会」の集まりに不定期で参加 ・「すこやか体操」の活動状況を不定期で確認 ・「なのはな会」の活動状況を不定期で確認 ・「ひだまりの会」において年2～3回出前講座を実施、年2～3回ポピュレーションアプローチを実施 ・「しらかば会サロン」において不定期で出前講座を実施 ・「楽唱会」の活動状況を不定期で確認 ・「あしの会」の活動状況を不定期で確認 |
| 彩幸 | <ul style="list-style-type: none"> ・「よってかまいか（小沢）」において年4回出前講座を実施 |
| 作楽荘 | <ul style="list-style-type: none"> ・「鉄山カフェ」において年2回出前講座を実施 ・「中野文化協会」の活動状況を不定期で確認 |
| 幸王寿園 | <ul style="list-style-type: none"> ・「にこにこサロン」の集まりに月1回参加、2か月に1回程度講座開催のための手伝い、年3回程度出前講座を実施 |

Ⅲ 総括

1 総合評価

令和3年度から第2期お互いさまのまちづくりアクションプランの計画期間が開始され、令和3年度から8年度までの6年間で支え合い活動団体55団体創出することを目指している。今年度は14の新たな支え合い活動団体が創出され、支え合い活動創出数の合計は令和6年度までと合わせて53となり、目標達成まであと一步の状況に至った。協議会が把握しているまちの居場所活動及び助け合い活動は計150団体（箇所）に達し、支え合いの輪が着実に広がっている。

支え合い活動の立ち上げ状況をみると、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターが地域に入り込み、自治会、民生委員、老人クラブ等との関係構築を通じて担い手の中心となる人物との信頼関係を築いた上で、適切なタイミングで後押しをしたことが立ち上げの要因となっている。特に、まちの居場所づくり活動者交流会を全4回開催したことで、活動者同士の横のつながりが深まり、交流会を契機に新たに活動立ち上げを志す参加者もみられた。また、東部地域包括支援センターが訪問看護事業所と連携して新たな居場所のきっかけづくりを行うなど、医療・介護の専門職と地域活動を結びつける動きも進展している。

アクションプランの各プランについて見ていくと、『認知度向上プラン』に関しては、豊橋創造大学及び豊橋市立看護専門学校において学生向けの特別講義を実施し、若い世代に「お互いさまのまちづくり」の意義を伝えることができた。令和7年度は医療の専門知識を活かして地域で活躍する活動者を講師として招き、支え合い活動をより身近に感じてもらえる内容に見直したことが、学生の関心醸成につながった。また、市の情報誌「アクティ」や電子マガジン「とよはし健康マガジン」、社会福祉協議会のLINEや広報誌、各地域包括支援センターの「包括だより」等を活用し、多世代へ情報発信を行うことで、お互いさまのまちづくりの認知度向上に努めた。さらに、認知症行方不明者声掛け訓練を東部・南部圏域の複数校区で開催し、地域住民が「自分ごと」として認知症や見守りを考える機会を創出した。

『担い手創出プラン』に関しては、社会福祉協議会によるレクリエーションリーダー講座、楽しくなかまづくり縁ジョイ講座等を通じて、活動の担い手へ学ぶ機会を提供した。また、自治会連合会の協力のもと、学生ボランティアが講師を務めるシニア向けスマホ教室を市内各所で開催し、未来の担い手である学生に地域活動への関心や理解を深めてもらうことで、多世代の担い手としての意識の醸成を図った。さらに、豊橋市お互いさまコーディネーター説明会を開催し、先輩コーディネーターとの座談会において、コーディネーター自身の活動や経験を語ることで、新たな担い手の確保につながり、令和8年度からは新たに6名が加わり9名の新体制で活動を展開していくこととなった。

『活動応援プラン』に関しては、生活支援コーディネーターが広域的地域ケア会議への出席や居場所への訪問を重ね、地域課題の発見と新たな活動立ち上げの支援を行った。市内で活動する各団体に向けては、市による支え合い活動団体支援補助金及び支え合い活動参加者保険の提供、老人クラブ連合会によるサロン活動への支援、民生委員児童委員協議会による地区民児協単位での取り組みなど、さまざまな応援体制が機能した。

全体として今年度は、関係団体それぞれが自らの強みを活かして役割を果たし、相互に連携することで、支え合い活動の創出・継続に確かな成果をあげることができた。広報紙やホームページ、SNS等を活用した周知と多世代へのアプローチを意識的に進めたことで、お互いさまのまちづくりが地域に着実に浸透しつつあると考える。一方で、活動者の高齢化や後継者不足、居場所への移動手段の確保といった課題も明らかになり、今後の取組みにおいて関係団体が知恵を出し合うべき論点として浮かび上がってきた。

2 今後の展開

来年度は「第2期お互いさまのまちづくりアクションプラン」の最終年度となり、目標の支え合い活動55団体創出まであと一步の状況であるため、3つのプランに掲げた取組みをさらに推進していくことが求められる。

特に、認知度向上については、活動団体及び担い手の創出において重要な要素となることから、様々な場所で関係団体が協力し、市民に広く「お互いさまのまちづくり」が認知されるよう取り組んでいく必要がある。